

## 発表コード対応表

課題研究(テーマ):ICTを活用し、高度情報社会に相応しい人間力を養う(ICT活用研究会)			
発表コード	氏名	所属	題目
1AA1	河野敏行	岡山理科大学	遠隔講義サポートシステムの利用について 一質問応答の効率化を目指して一
1AA2	上野真弓	家庭教育力研究所	小町算をフェルトボールそろばんで検証するICT授業実践 一緑表紙作成者、塩野直道の4つ珠そろばん開発の謎一
1AA3	小山万作	世田谷区立弦巻小学校	白板ソフトを使ったプログラミング教育の実践 一掛け算の筆算プログラミング一
1AA4	渡邊景子	東京女子体育大学	小学校プログラミング教育を普及させるための授業方法の検討 一一
1AA5	片柳木の実	調布市立石原小学校	児童が調べやすく理解しやすい学習サイト作成 一小学校4年社会科「わたしたちの東京都」〜くらしをささえる水〜を通して一

課題研究(テーマ):ICTを活用し、高度情報社会に相応しい人間力を養う(ICT活用研究会)			
発表コード	氏名	所属	題目
2AA1	北川文夫	岡山理科大学	ゲームプログラミングによる高校生プログラミング教育の試行 一一
2AA2	坂井岳志	世田谷区立八幡小学校	「9色目録バイリンガル百人一首かるた」の活用と「音声読みあげソフトのマルチプラットフォーム化」 一一かるたと白版ソフトアプリとWeb版読上げサイトのコラボ
2AA3	坂本徳弥	椋山女学園大学教育学部	模擬授業演習におけるICTの活用 一一
2AA4	田辺亮	東海大学	ICT環境の変化と学生のICT活用能力 一一

課題研究(テーマ):アクティブラーニング・ファシリテーター育成と大学IR情報の活用に関する研究(教職開発研究会)・情報の連携・活用研究(著作権等研究会)会			
発表コード	氏名	所属	題目
1AB1	森雅生	東京工業大学	大学情報のオントロジー構築 一IRの観点からの教育と大学評価のオントロジー一
1AB2	町英朋	常盤大学総合政策学部	デジタルデータの権利処理と真正性に関する考察 一一
1AB3	大石哲也	東京工業大学	レピュテーション・マネジメントの推進に向けたIRのあり方 一教学IR分析の観点から一
1AB4	高田英一	神戸大学 評価室	IRによる中期計画の策定の支援の現状と課題 一国立大学に対するアンケート調査の結果を中心に一

課題研究(テーマ):教育・研究のグローバル化をいかに活性化するか?(国際交流研究会)			
発表コード	氏名	所属	題目
2AB1	小川勤	山口大学	タイの大学における国際交流戦略2 一2つの大学における国際交流戦略一
2AB2	宮浦崇	九州工業大学	コンピテンス獲得に着目した教養教育デザイン 一歴史教育分野における海外実践の適用可能性等を中心に一
2AB3	袁廣偉	曲阜師範大学	未定 一一
2AB4	陳那森	関西国際大学	反転授業に関する国際比較からみえてくる授業改善の課題 一一

課題研究(テーマ):観光教育の拡がり地域力の可能性			
発表コード	氏名	所属	題目
1AG1	古賀学	松蔭大学	学生の地域活動と持続可能な地域力との関係性についての体系分類に関する考察 一一
1AG2	春日俊雄	新潟産業大学	かやぶき集落 荻ノ島における観光教育の実践 一これまでの活動及び今後の方向性一
1AG3	総田はるみ	横浜商科大学	地方自治体との連携による国際共修型プロジェクトワークの効果について 一一
1AG4	上村基	淑徳大学	観光プランナーとしての実践と観光教育におけるアクティブラーニングの在り方 一一
1AG5	全相穂	日本観光振興協会	地域DMOにおける学生等若手人材育成のあり方に関する一考察 一海外事例を中心に一
1AG6	藤巻貴之	白鳥大学社会学部	地域連携における「関わり」の変化 一神奈川県県央地域の連携活動事例を通して一
1AG7	川添裕子	松蔭大学	民族誌的情報の資源化 一厚木市小野小町祭りと大学教育一
1AG8	永井恵一	東洋大学	国際観光と平和の学び 一JICA課題別研修との連携の取り組みを通じて一

課題研究(テーマ):看護教育における教育方法と評価・観光教育の拡がり地域力の可能性			
発表コード	氏名	所属	題目
1AG1	風岡たま代	松蔭大学看護学部	看護短大3年生と看護大学3年生が随地実習で体験するヒヤリハットの共通点 一一成人看護学急性期実習での体験から一一
1AG2	澤田和美	松蔭大学	ポータルサイトを使用した看護技術の動画の調査 一一
1AG3	山崎道子	松蔭大学	小児看護学実習における看護の学びの実態 一本学第一期学生の実習後のレポート分析から一
1AG4	長嶋祐子	駒沢女子大学	看護基礎教育のVR化に関する教育内容の検討 一一出版されている教科書の内容比較一一

課題研究(テーマ):合理的配慮とアシスティブ・テクノロジー(特別支援教育AT研究会)			
発表コード	氏名	所属	題目
1AD1	金森克浩	日本福祉大学	知的障害や発達障害のある子どもへのプログラミング学習 一一
1AD2	佐原恒一郎	千葉県立矢切特別支援学校	儀式的学校行事における視覚支援の効果と課題 一一
1AD3	太田容次	京都ノートルダム女子大学	特別支援教育に関わる教員の専門性向上に関する研究 一遠隔連携による教員間の相互作用の分析を通して一
1AD4	倉川雄二	東北大学大学院	知的障害特別支援学校におけるプログラミング教育の現状 一全国調査の結果より一
1AD5	塩塚敬介	熊本大学大学院	重度・重複障害教育における視線入力装置活用の現状と課題 一一
1AD6	大杉成喜	皇學館大学教育学部	重度身体障害者の視線入力等を活用したeSpots参加 一コンシューマー・ゲーム等の操作の試行一

課題研究(テーマ):深い学びと教育実践(教育資料研究会)			
発表コード	氏名	所属	題目
1AE1	加藤直樹	岐阜大学	教員養成における「豊かな学びのデザインマップ」を活用した授業デザイン 一一
1AE2	及川浩和	中日本自動車短期大学	テクノロジーを活用した豊かな学びの評価尺度の開発 一一
1AE3	山崎直次	山梨県立大学	理科教育における深い学び 一一既存の理科教育法における課題一一
1AE4	植岡靖司	岐阜県山県市立伊自良南小学校	仮説的推論を用いた小学校理科の授業デザイン 一一
1AE5	堀信哉	大垣市立南中学校	思考力を高めるための学習プロセスの反応分析に関する研究【Ⅲ】 一一 レスポンスアナライザーを活用した発問応答の時系列分析 一一
1AE6	齋藤陽子	岐阜女子大学	過去の教育実践から現在の教育実践への適応V 一人材のかかわりに着目して一

課題研究(テーマ):地域の歴史アーカイブ:いま記録しなければ消えていく地域の記憶(デジタルアーカイブ研究会)			
発表コード	氏名	所属	題目
1AF1	井上透	岐阜女子大学	伝承者・技能保持者が主体となったデジタルアーカイブ化ー伝承者・技能保持者によるデジタルアーカイブ開発の特質ー
1AF2	久世均	岐阜女子大学	地域課題の解決を目的とした地域資源デジタルアーカイブの開発ー地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成ー
1AF3	谷里佐	岐阜女子大学	オーラルヒストリーに関する伝統・文化教育の効果をも高めるデジタルアーカイブー
1AF4	皆川雅章	札幌学院大学	地域の歴史デジタルアーカイブの現状と課題ー北海道の事例ー

課題研究(テーマ):資質・能力の育成に向けた幼児教育内容の改善・充実			
発表コード	氏名	所属	題目
2AC1	山下文一	松蔭大学	親の子育て力の向上のための方策についてー保護者の一日保育者体験事業に着目してー
2AC2	大沢裕	松蔭大学	保育者養成におけるVRを利用したシミュレーション学習教材の開発ー
2AC3	江津和也	淑徳大学	ICTを活用した保育内容・方法の可能性ー保育士・幼稚園教諭を目指す学生による教材作成ー
2AC4	永井由利子	松蔭大学	絵本を通じた計画的環境による教育内容の進化・充実について①ー絵本からの情報による間接体験と多様な対話を通して学びを深めるー
2AC5	古金悦子	松蔭大学	絵本を通じた計画的環境による教育内容の進化・充実について②ー科学絵本と教材開発による、体験を通して学び活動についてー
2AC6	大森雅人	神戸常盤大学	「思考力の芽生え」につながる保育実践に関する検討ー環境の構成のあり方に関する一考察ー
2AC7	尾中 映里	高知市立神田小学校	保育所・幼稚園と小学校の接続に関する研究ー学ぶ力・生きる力を伸ばす保幼小接続期カリキュラムー
2AC8	桶田ゆかり	文京区立第一幼稚園	幼児期のアクティブラーニングについてー幼児の深い学びを促す保育者の援助ー
2AC9	田村由香	高知学園短期大学	特別な支援を必要とする幼児の小学校との円滑な接続についてー引き継ぎシートを活用した事例に着目してー
2AC10	阿部アサミ	東京保育専門学校	保育者養成校の授業内におけるICTの活用ー

一般研究:学生セッション			
発表コード	氏名	所属	題目
1AH1	羽鳥由佳子	松蔭大学	スマートフォンのゲームアプリにおける認識と行動の分析ー
1AH2	伊東宏士	帝京大学	なぜ、失言が生まれるのかー失言と判断される要因をクリティカルに分析する試みー
1AH3	溝口裕太	岐阜大学	教員養成におけるプログラミング的思考を支える見方・考え方の育成ー
1AH4	久住知沙都	松蔭大学	普段のケータイ利用の習慣が授業中の「ながら行動」に与える影響ー
1AH5	鈴木綾華	松蔭大学	LINEにおいて生じる学生の意識と行動の分析ー

一般研究:学習評価・その他			
発表コード	氏名	所属	題目
2PB1	白川雄三	大阪学院大学	ルーブリックを活用した学習成果の測定結果についてー
2PB2	加藤亮介	十文字学園女子大学	学習者の性格特性から考えるクリエイティブワーク型協働学習の効果についての検討ー
2PB3	香坂千佳子	大阪学院大学	吹田市との官学連携PBLとルーブリック評価ー
2PB4	後藤晃範	大阪学院大学短期大学部	ルーブリックを活用した自己評価による学習成果の測定についてー
2PB5	瀬ノ上裕	岐阜女子大学	教員を志望する学生の生き物に関する意識についてー
2PB6	小澤康幸	明星大学	LINEグループにおいて返信を待たせる状態が続くことで生じるネガティブ感情(1)ーLINE依存の3つの側面とネガティブ感情の発生の有無との関係ー
2PB7	加藤尚吾	東京女子大学	LINEグループにおいて返信を待たせる状態が続くことで生じるネガティブ感情(2)ーネガティブ感情を生じるまでの時間に及ぼすLINE依存の3つの側面の影響ー
3PB8	加藤由樹	相模女子大学	LINEのグループトークで返信を待つ間にネガティブ感情が生じるまでの時間ーグループの種類及び既読/未読の影響ー

一般研究:教育実践①			
発表コード	氏名	所属	題目
2AE1	立野貴之	松蔭大学	ビジネスゲームにおけるマルチタスクに着目した学習者の意識分析ー
2AE2	石川敬史	十文字学園女子大学	自動車で移動する社会教育活動の意義と課題ー図書館、博物館、水族館を中心にー
2AE3	木原裕紀	大阪府立寝屋川高等学校	生徒のICT活用を指導する能力の向上をめざした事例的研究ー
2AE4	今井亜湖	岐阜大学	教員養成のための人権教育カリキュラムの開発ー
2AE5	今井弘二	情報通信研究機構	ICT機器の違いによる小学生の理解のしやすさの違いについてー一日食の題材を例としてー
2AE6	荒木貴之	報徳野大学	教師による非同期型eラーニングの支援の検討ー
2AE7	宮浦崇	九州工業大学	理工系学生に向けた教養教育授業デザインに関する考察ーアクティブラーニング型授業の導入と推進ー

一般研究:教育実践②			
発表コード	氏名	所属	題目
2PE1	安達一寿	十文字学園女子大学	小中学校でのICTを活用したアクティブラーニング実践の分析ー
2PE2	伊藤久美子	愛知文教女子短期大学	サンドアートシアターの実践と評価ー学生による他グループ評価に関する考察ー
2PE3	清水義彦	富山県立大学	中学校での海外交流学習で養育する生徒の意識の検証ータブレットを用いた海外交流学習年間授業モデルー
2PE4	成瀬優享	芦屋大学	2級自動車整備士養成課程におけるPBL授業プログラムの開発と導入効果(2)ー車両作製を通じた深い課題解決能力の獲得ー
2PE5	皆川雅章	札幌学院大学	大学初年次における計算力育成の課題ー苦手意識は克服できるかー
2PE6	安村薫	松蔭大学観光メディア文化学部	神奈川産学チャレンジプログラムー松蔭大学の参加の現状ー
2PE7	金子あけみ	東京医療保健大学	家族劇制作を用いた家族看護学教育の効果と課題ーなしー
2PE8	若山昇	帝京大学	大学間交流研究会を運営するプロセスが学生の意識変化に関する考察ー

一般研究:プログラミング教育			
発表コード	氏名	所属	題目
2PA1	納庄聡	甲子園学院高等学校	プログラミング的思考の向上を目的とした自己調整学習に関する研究(1)ープログラミング的思考と学習状況に関するアンケート調査よりー
2PA2	中谷有里	芦屋大学大学院	プログラミング的思考の向上を目的とした自己調整学習に関する研究(2)ー自己調整学習を取り入れた学習モデルの考察ー
2PA3	室谷心	松本大学	教えて学ぶ大学生が教えるキッズプログラミング教室ー地域イベントを利用した学生教育の実践例としてー
2PA4	平原大助	鹿児島医療技術専門学校	医療系専門学校におけるプログラミング教育の実践ー
2PA5	山本朋弘	鹿児島大学	プログラミング教育の実施段階に対応した教材開発と評価ー
2PA6	飯東哲也	常葉大学	プログラミング教育準備に関する小学校教員の不安感を軽減する要因の検討ー
2PA7	木田光彦	株式会社ビークラウド	文系学生を対象としたPythonプログラミングの授業実践ー
2PA8	鈴木航平	埼玉大学	小学校ICT担当者のプログラミング教育に関する意識調査ー
2PA9	伊藤大河	共栄大学国際経営学部	micro:bitを用いた音楽科におけるプログラミング的思考の育成ー

一般研究:教育方法①			
発表コード	氏名	所属	題目
2AF1	林徳治	甲子園大学	栄養教諭の養成課程における持続可能な学びにつながる学習デザインの開発と評価ー
2AF2	奥戸律子	岐阜大学教育学部	学校におけるタブレットPCの効果的な活用に関する調査研究ー授業で利用されたタブレットPCの機能ー
2AF3	土肥由起子	宝塚市立宝塚中学校	特別支援教育における造形活動の役割ー
2AF4	成瀬喜則	富山大学	複数の学習形態を取り入れた教育システムの構築ー
2AF5	古川美樹	有田中部小学校	記憶の再生マップを利用した児童の概念の文章による整理に関する実践研究ー
2AF6	横山隆夫	岐阜女子大学	1週間以上あけて実施する九九のくり返し学習の正答率ー
2AF7	竹内俊彦	東京福祉大学	モンスターペアレント対応を学ぶゲームを用いた授業実践とアンケート分析ー

一般研究:教育方法②			
発表コード	氏名	所属	題目
2PF1	藤本光司	芦屋大学	教職科目における自己調整学習の研究ー
2PF2	市川隆司	大阪信愛学院短期大学	幼児教育におけるICT活用の検討ー諸外国の活用例をもとにー
2PF3	井上聡子	東京医療学院大学	本邦における過去10年間の精神看護学教育の文献的考察ー学内演習の内容・方法と学習効果ー
2PF4	小野坂益成	松蔭大学	教員が行うロールプレイ映像教材の活用についてー教員が行うロールプレイ映像を精神査定へつなげるー
2PF5	北澤武	東京学芸大学	大学生のタイピング能力に関する分析ーキーボード入力とスマートフォンのフリック入力に着目してー
2PF6	八木良広	愛媛大学教育学部	現職教員を対象とした教員養成プログラムの現状・課題・可能性ー愛媛大学認定通信教育の受講者対象アンケート結果からの考察ー
2PF7	鷲尾裕子	松蔭大学	大学における観光教育の進め方についてーまちづくりの現場で学ぶー
2PF8	山下泰生	関西国際大学 基盤教育機構	実践に基づく反転授業の実効性と課題についてー

一般研究:教材開発①			
発表コード	氏名	所属	題目
2AG1	福井正康	福山平成大学	直交表実験計画法プログラムの開発ー
2AG2	安藤久夫	岐阜女子大学	リズム行動における手拍子の拍圧計測装置の開発ー
2AG3	小川隆夫	聖学院大学	次世代コードを活用した英語教育テキストーテキストからそのまま音声や動画、絵本にアクセスー
2AG4	奥田由紀恵	福山平成大学	教育用分析ソフトウェアCollege Analysisを使いやすくする機能についてー
2AG5	奥村信夫	守山市立守山南中学校	歴史読本「守山から日本の歴史を見る」の普及・活用ー増補改訂版の刊行とデジタル教材化に向けてー
2AG6	吉井直子	奈良女子大学	幼児期の空間認識能力と教材研究ー

一般研究:教材開発②			
発表コード	氏名	所属	題目
2PG1	尾崎誠	福山平成大学	HTML5によるアニメーション表示の高速化ー
2PG2	桜庭望	宇宙航空研究開発機構	宇宙を題材とする教材開発ー
2PG3	篠田幸雄	情報科学芸術大学院大学	触ってわかる自作音楽教具「音符カード」用のリズム音自動再生ツール開発ー「onpu-card player」の開発ー
2PG4	増山一光	神奈川県立商工高等学校	情報セキュリティへの自発的な対応力を育成するカードゲーム教材の開発ー
2PG5	村瀬孝宏	中京学院大学	3次元地形モデルの自動生成と環境教育への活用ー
2PG6	岸康人	松蔭大学	第二言語でのオンライン動画の教材利用に関する再生速度自動制御の研究ーデザインと字幕単位での難易度評価モデルー

一般研究:情報教育①			
発表コード	氏名	所属	題目
2AH1	相澤崇	都留文科大学	中学校技術科の情報教育における学習活動の特徴分析ー新旧学習指導要領解説文から抽出した行為動詞の比較を通してー
2AH2	松浦広明	松蔭大学	インターネットポルノの性教育効果の推定ー一日米比較研究ー
2AH3	高橋麻司	芦屋大学大学院	中学校技術科における主体的・対話的で深い学びを目指した実践研究ー問題解決学習における最適化を対象としてー
2AH4	池田勇	植木保育園	保育園で情報教育は行われているのかー保育所保育指針と実例を通じてー
2AH5	在間拓幹	埼玉大学	AIを活用した対話型教材の開発と実践を通じた評価ー
2AH6	登本洋子	桐蔭学園	日本における探究的な活動と情報リテラシー・科学的リテラシーとの関係性の整理ー

一般研究:情報教育②			
発表コード	氏名	所属	題目
2PH1	工藤雄司	茨城大学教育学部	プログラミングにおける論理回路学習の効果と踏まえた情報教育の体系化を考えるー
2PH2	林泰子	芦屋学園短期大学	幼児教育課程における情報モラル教育に関する実践と評価(2)ーSNSを題材とした情報モラルの学習方法の開発ー
2PH3	阿久津毅	昭和学院短期大学	短期大学生のSNSに関する意識調査研究ー
2PH4	金幸都	松蔭大学	スマートフォンに顔画像と二次元コードによる出席確認方式と評価ー
2PH5	小熊良一	群馬大学 教育学部	中学卒業時における生徒の情報モラル・セキュリティに関する実態調査ー
2PH6	川井勝登	埼玉大学	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングを学習する指導過程の提案ー
2PH7	神月紀輔	京都ノートルダム女子大学	ネットによるいじめ相談とネットを安全に使う啓蒙の実践ー